

遠野市の(株)栄組が採択

ブラジルでコンクリート構造物の劣化診断、補修を事業化

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社栄組(岩手県遠野市、佐々木孝彦代表取締役)が提案する「コンクリート構造物の長寿命化に資するひび割れ・劣化部補修事業に関する基礎調査」(ブラジル)を採択しました。

ブラジルでは積極的なインフラ整備による新しい構造物が次々と現れる一方、コンクリート構造物に対する劣化診断が十分に行われているとはいえ、補修技術も未成熟であるため、それらに起因する事故が散見される状況で、その対策が喫緊の課題となっています。

株式会社栄組が提案する技術は、同社が特許を有するひび割れ注入装置を使用したコンクリート補修技術(圧力調整注入工法)及びコンクリート構造物の劣化調査、劣化部処理、補修施工、補修評価といった各プロセスを一元管理したコンクリート構造物の長寿命化を図る施工マネジメントシステムで、これにより、ブラジルにおけるコンクリート構造物の崩壊事故の防止や効率的に補修、整備を行うことにより構造物の長寿命化に貢献することが期待されています。基礎調査では、ブラジル政府が抱えるインフラ分野の課題やビジネス事業化の可能性等を調査する予定です。



圧力調整注入
工法による補修
施工



劣化調査



補修施工

圧力調整注入工法や他工法による
見える化した複合補修補強施工



劣化部処理
最新のファクターポンプ機械による
コンクリート劣化部の処理

施工マネジメント
システム SIMMS
の概略図

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注)基礎調査は、優れた製品や技術力を有する中小企業が、途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもの。企業は、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を行う。2017年度第2回分は今年9月に公示を行い、12件が採択。https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html

参考: (プレスリリース) 基礎調査 2017年度第2回公示の採択結果について

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当: 上野

TEL: 022-223-4772 FAX: 022-227-3090 e-mail: Uwano.Midori@jica.go.jp